



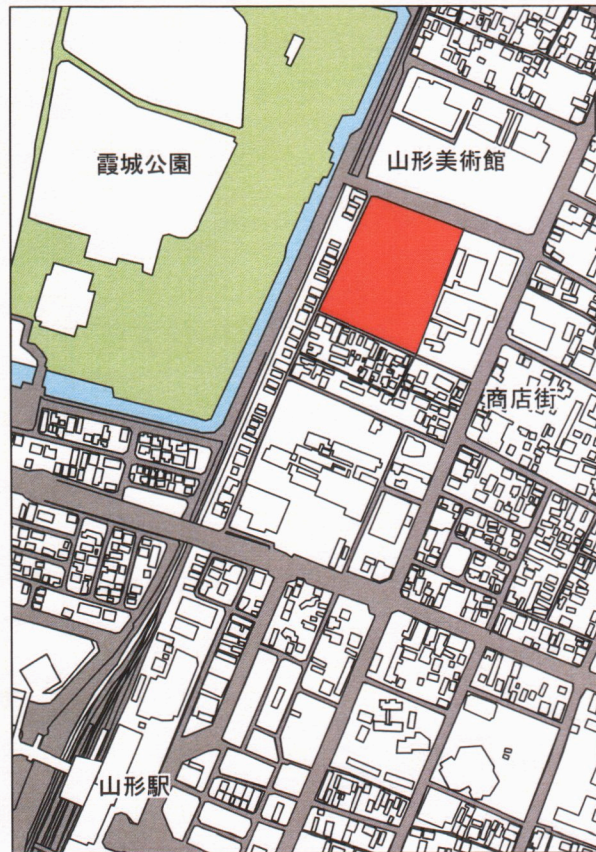
ぐるぐると歩き回り、ぼーっと休憩
ぐるぐると本を探して、ぼーっと本を眺める
ぐるぐると頭を働かして、ぼーっと頭の整理

計画・都市アメニティグループ
B10C010
大塚 洗

コンセプト

コンセプトは「公園のような建築」とした。
 公園では様々な出会いや出来事が起こる。またそこではお互いにコミュニケーションをとり合い、日常における情報の交換なども行われている。つまり人と人の関係を繋げる場所として公園は重要な場所である。
 しかし、公園は本来屋外にある公共空間であり、それ故に天候などによって利用を制限されてしまう。
 また豪雪地帯ともなると季節によっては長期にわたり利用することが出来る恐れがあり、これにより公園での人とのつながりが途切れてしまい、地域としての質の低下が起きてしまう。
 これを解消するために公園を壁、屋根のある公共施設へ変化させることを考案した。
 これにより公園の機能を持ちつつ天候に左右されない安全な公共施設をつくることができ、公園ないではどのような場合でも人が集まることができ、地域の質の向上を行うことができる。
 以上のことより、コンセプトは公園が建物の中に入っているということで「公園のような建築」とした。

対象敷地



豊烈神社



山形美術館



最上義光歴史館



住宅裏線路



霞城公園東口



豊烈公園



対象敷地北側

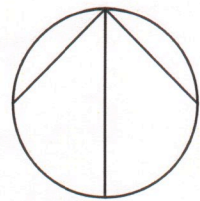


対象地域南側



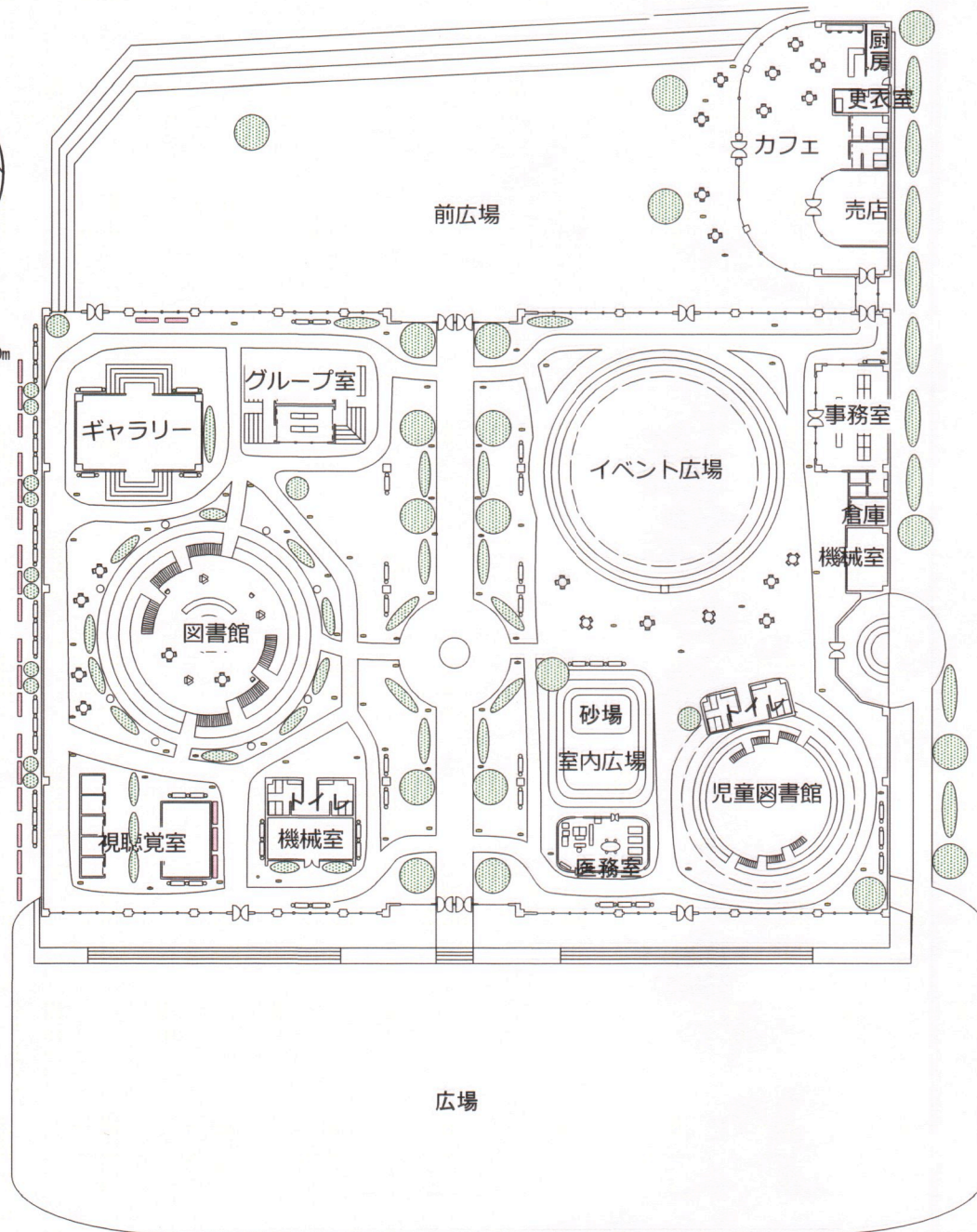
対象地域住宅側

平面図



0m 5m 10m 20m

1/300



施設

建築・都市アメニティグループ
大塚 洸

03

前広場

広いスペースを確保しており、こちらでフリーマーケットなどを開催し、交流を深める。

商業施設

カフェ

ガラス張りの入り口となっており開放感のあるカフェとなっている。また、外に展開してオープンカフェの形をとることもできる。

売店

この建築が位置する住宅街には、調査の所コンビニなどの店が近くにないため、その代替りとなるようなものと考え、計画したもの。

大人空間（西側施設群）

静かに楽しむ空間。考える空間がメインの場所。

ギャラリー

建築物の前に美術館があるので、こちらでは美術館では展示されていない周辺住民などの作品を展示。

図書館

この建築のメインの一つ地下へと降りていく形で入る図書館。他にはないこのような形を取り、図書館自体に対して好奇心をもたせ、本を探す過程をも楽しませる。

子供空間（東側施設群）

わいわいと賑やかな場所。子供のための空間

イベント広場

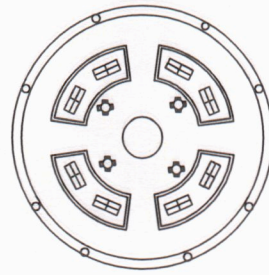
週末や祝日に何かしらの出し物などを行う場所。特にイベントがない場合などは子供の遊び場としても利用してもらおう。

児童図書館

大人空間にある図書館のスケールを小さくしたもの。外観としては遊具のような形をしており子供に興味をもたせ、中に引き込む。

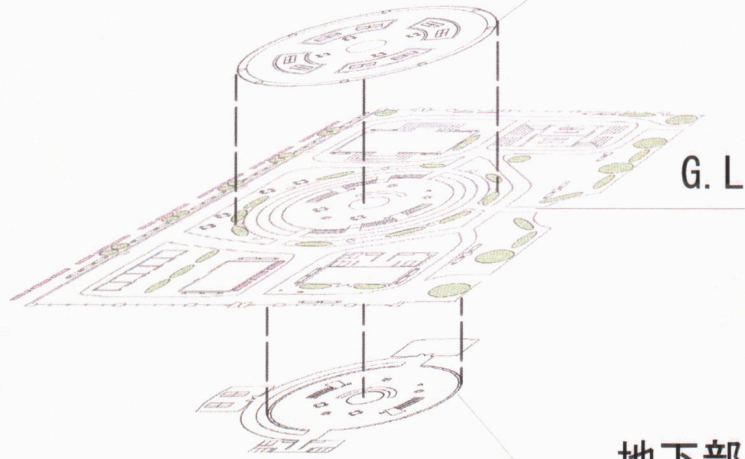
図書館

二階部分

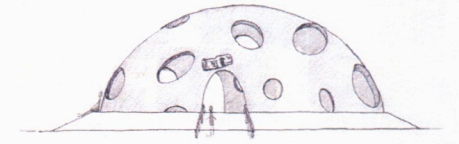
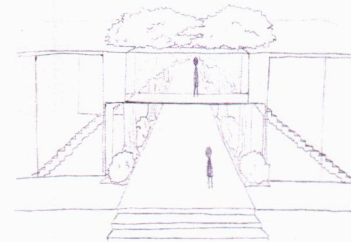
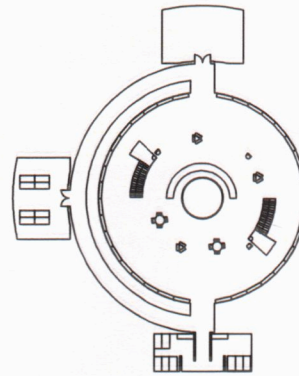


建築・都市アミニティグループ
大塚 洸

04



地下部分



児童図書館



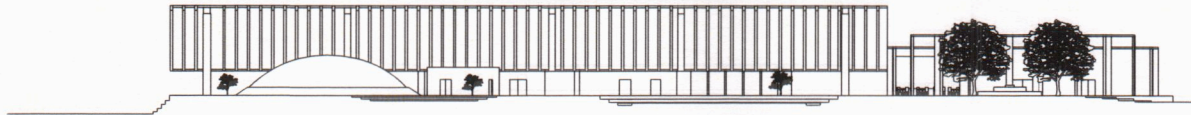
図書館



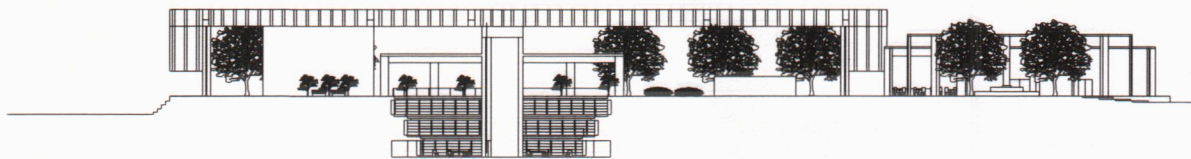
中央通り

断面図

子供空間



大人空間



1/300

